

在宅医療・介護連携推進協議会	協議資料
令和3年5月28日	
市役所 302 会議室	

令和3年度 第1回
立川市在宅医療・介護連携推進協議会
協議資料

令和3年5月28日（金）

立川市 福祉保健部 高齢福祉課

報告事項①

<p style="text-align: center;">「おくやみコーナー」を4月20日から開設 ご家族が亡くなった際に市役所で行う各種手続きについて、担当窓口を案内する</p>	
目的	<p>近親者が無くなり、気持ちが落ち込んでいる遺族が、煩雑な多くの行政手続きをしなければならないという現状に寄り添い、負担を軽減するため窓口連携の仕組みを作り、市民サービスの向上と事務の効率化を図る。</p>
段階的 実施 方法	<p>第1段階(令和3年4月20日～) 直接来庁 ご遺族からの聞き取りにより、必要や手続きと担当部署についてご案内</p> <p>第2段階(令和3年10月5日～) 基本予約制 予約段階で必要な手続きの事前確認を行う 来庁時は担当部署で円滑に手続きが出来るよう支援</p>
現在の 実施 内容	<p>◇受付時間:月曜日～金曜日(祝日を除く) 午前9時～午後0時、午後1時～午後4時</p> <p>◇予約不要</p> <p>◇場所 :市民課(本庁舎1階7番窓口) 内線1367</p> <p>◇対象 :立川市に住民登録があった方のご遺族</p> <p>◇流れ :①ご遺族がおくやみコーナーに来庁 ②亡くなられた方と窓口に来られた方の情報を「お客様シート」に記入 ③市役所での手続きのうち対象者に必要な項目を「市役所での手続きチェックリスト」の該当欄に○を付けて案内 ④「お客様シート」、「市役所での手続きチェックリスト」、庁内案内図をファイルに入れて渡す ⑤ご遺族がファイルを持って、各部署で手続きを行う ⑥ご遺族がおくやみコーナーへ戻ったらファイルを回収</p> <p>※各部署では、「市役所での手続きチェックリスト」の「済」欄に☑をつけ、次の部署を案内するか、全て手続きを終えている場合はおくやみコーナーを案内する。</p>
	<p>◇ハンドブックの配布 市役所本庁市民課(17時以降は中央管理室)、窓口サービスセンターで死亡届を提出された親族の方にハンドブックをお渡し</p> <p>◇おくやみコーナーの周知 広報たちかわ(4/10号)、立川市ホームページ 他、4/20の窓口開設前に死亡届を出された方へ案内チラシをお渡し</p>

報告事項②

在宅要介護者(高齢者)受入体制整備事業について	
開始	令和2年12月
目的	<p>家族介護者が新型コロナウイルスに感染した場合、濃厚接触者となった在宅要介護高齢者が健康観察期間を高齢者施設で生活できるよう体制を整備することで、要介護高齢者の安全安心を確保し、家族介護者が安心して療養できるようにする。</p>
事業概要	<p>1. 対象者 65歳以上の在宅要介護高齢者で、家族介護を受けないと日常生活上支障が生じる者 ※介護保険制度に基づく要介護認定の有無は問わない</p> <p>2. 利用条件 ・家族介護者が新型コロナウイルスに感染していること ・対象者が新型コロナウイルスに感染していないこと (PCR検査結果:陰性)</p> <p>3. 利用方法 地域包括支援センターもしくは高齢福祉課に相談し、市内介護施設に入所依頼</p> <p>4. 受入先施設の想定 特別養護老人ホーム、老人保健施設</p> <p>5. 移送方法 受入先施設手配もしくは民間タクシーを利用</p>
令和2年度実施状況	<p>相談者数 28名 利用調整 4名 利用者数 0名</p>

新型コロナウイルス感染症 ワクチン接種事業について

3月30日 広報たちかわ臨時号を発行



3月24日時点の情報に基づいて作成しています。今後のワクチンの供給量や国からの情報により、内容が変更となる場合があります。

【主な内容】▶2・3面 接種の流れ、接種場 ▶4面 よくわかる 新型コロナウイルスワクチン

4月下旬に、一部の高齢者施設の入所者から 新型コロナウイルスワクチンの 接種が始まります

そのほかの高齢者の予約は5月6日☺から、接種は5月11日☺から開始予定

市は、16歳以上の市民の方を対象に、新型コロナウイルスワクチンの接種を実施します。まず、4月中旬に国から975人分のワクチンが供給される予定です。接種は、クラスター防止のため、一部の高齢者施設の入所者から開始します。そのほかの高齢者の予約は5月6日(木)午前8時30分から、接種は5月11日(日)から開始する予定です。市民の皆さんができる限り早く、安心してワクチンを接種できるよう準備を進めています。

※介護老人福祉施設、介護老人保健施設など

【対象者と接種時期】

立川市に住民登録がある16歳以上の方を対象に、令和4年2月28日まで、次の優先順位に沿って実施します。ただし、同じ優先順位の中でも、ワクチンの供給量によって、さらに接種時期を分ける場合があります。

接種の優先順位

- 1 高齢者 令和3年度中に65歳以上に達する方(昭和32年4月1日以前に生まれた方)
- 2 ①以外の方で、基礎疾患のある方、高齢者施設等で従事する方
- 3 ①・②以外の16歳以上の方

接種券の発送と予約・接種の開始時期

4月中旬以降順次、高齢者に接種券を発送します。予約は5月6日(木)午前8時30分から、接種は5月11日(日)から開始する予定です。それ以外の方への接種券の発送や、予約・接種の開始時期は、ワクチンの供給量に応じて、今後の「広報たちかわ」や市ホームページでお知らせします。

基礎疾患のある方とは

①・②のいずれかにあてはまる方です。
なお、基礎疾患を証明する診断書等が必要ありません。予約票に記載していただき、必要に応じて問診で確認します。

③次の病状や状態の方で、通院・入院している方
▶慢性的呼吸器の病気▶慢性的心臓病(高山症を含む)▶慢性的腎臓病▶慢性的肝臓病(肝硬変等)▶インスリンや飲み薬で治療中の糖尿病または他の病気を併発している糖尿病▶血液の病気(鉄欠乏性貧血を除く)▶免疫の機能が低下する病気(治療中の悪性腫瘍を含む)▶ステロイドなど、免疫の機能を低下させる治療を受けている▶免疫の異常に伴う神経疾患や神経筋疾患▶神経疾患や神経筋疾患が原因で身体の機能が衰えた状態(呼吸障害等)▶染色体異常▶重症心身障害(重度の肢体不自由と重度の知的障害とが重複した状態)▶認知症呼吸器疾患▶重い精神疾患(精神疾患の治療のため入院している、精神障害者保健福祉手帳を所持している、または自立支援医療(精神通院医療)で「重度かつ継続」に該当する場合)や知的障害(療育手帳を所持している場合)
④BMI 30以上の肥満の方
BMIの計算方法：BMI＝体重(kg)÷身長(m)÷身長(m)
BMI 30の目安：身長160cmの場合、体重77kg

【接種場所】

かかりつけの医療機関で接種することを基本としますが、医療機関での接種が困難な方のために、市内公共施設等で集団接種も実施します。高齢者への接種は、医療機関では5月11日(日)から、集団接種会場では5月15日(木)から開始する予定です。くわしくは2・3面をご覧ください。

【接種回数と費用】

一定の間隔を空けて、同じ種類のワクチンを2回接種します(ファイザー社のワクチンの場合は、通常、1回目の接種から3週間後に2回目を接種します)。接種費用は無料(全額公費)です。

The information of COVID-19 vaccination has been reported in this public information paper. / 新型コロナウイルス接種情報の提供 / 신종 코로나 바이러스 예방접종 정보에 대해 기재합니다

掲載内容:

上記の他、ワクチンの有効性、接種を受ける際の同意、副反応と救済制度、接種の流れ、接種場所、接種前の確認事項、関連詐欺への注意喚起

4月16日 75歳以上の高齢者に接種券発送

4月20日 65歳以上74歳未満の高齢者に接種券発送

接種予約:

5月6日(木)～

インターネット【立川市接種予約受付システム 24時間受付】

電話【立川市新型コロナウイルスワクチン接種予約センター

☎(595)8006 土・日・祝を除く 午前8時30分～午後5時30分】

接種場所・開始時期:

基本:市内85の医療機関 5月11日(火)～

(医療機関での接種が困難な方は、

市内7か所の集団接種会場 5月15日(土)～)

優先順位:

1. 医療従事者等
2. 高齢者(令和3年度中に65歳に達する、昭和32年4月1日以前に生まれた方)
3. 高齢者以外で基礎疾患を有する方や高齢者施設等で従事されている方
4. それ以外の立川市に住民登録のある方16歳以上の方

※長期入院、長期入所している方など、やむを得ない事情がある場合は、住民票所在地以外でも、ワクチン接種可能

※予約受付状況を立川市ホームページで掲載の他、ツイッター、見守りメールで配信。

立川ホームページ掲載画面↓

新型コロナウイルスワクチン接種の予約受付状況

5月26日(水曜日)までの予約受付は終了しました。(5月12日10時30分現在)

キャンセルにより空きが生じる場合を除き、5月26日までの予約受付はすべて終了しました。

5月13日(木曜日)は、5月27日(木曜日)までの予約ができます。

ワクチンに関するくわしい内容や総合情報等は「[新型コロナウイルスワクチン接種に関する情報](#)」のページをご覧ください。

ワクチン接種は、インターネットかお電話での予約が必要です。

2週間先までの期間で接種日と接種会場を選択することができます。
(※日々、2週間先の予約枠1日分が追加されていきます)

(例)5月21日(金曜日)の新規予約受付の場合

【インターネットの場合】5月7日(金曜日)午前0時から受付開始

【電話の場合】5月7日(金曜日)午前8時30分から受付開始

インターネット、電話が混み合うことがあります。ワクチンは順次、供給されますので時間を置いて再度お試しください。

●インターネット: [立川市接種予約受付システム\(24時間受付\)](#) (別ウィンドウで外部サイトへリンク)

●電話: 立川市新型コロナウイルスワクチン接種予約センター(コールセンター)

▶ 新型コロナウイルスワクチン接種に関する情報

● 新型コロナウイルスワクチン接種について

● 立川市新型コロナワクチンコールセンター(予約センター)について

● 接種券等の送付および接種受付、接種開始時期について

● ワクチン接種を受けられる施設について

● 新型コロナワクチン接種予約方法について

● 接種券の再発行及び住所地外での接種について

● 立川市におけるワクチンの供給見込みについて

● [新型コロナウイルスワクチン接種の予約受付状況](#)

報告事項④

広報たちかわ 令和 3(2021)年 4 月 25 日号について	
特集号	介護保険のおしらせ(介護保険課との合併特集号)
内容	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-bottom: 10px;">注目記事</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">★第 8 次高齢者介護福祉計画を含む 立川市高齢者福祉介護計画 (2040 年を見据えた地域包括ケアシステムへの取組)</p> </div> <p>* その他の主な掲載内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援センター、福祉相談センターの紹介 ・介護保険制度の変更(介護報酬改定、更新認定の有効期間延長、高額介護サービス費の自己負担限度額の一部変更、利用者負担限度額の一部変更、施設サービス利用の際の基準費用額の見直し) ・65 歳以上の方(第 1 号被保険者)の介護保険料決定 ・介護保険事業費の推移と第 1 号被保険者の保険料の基準額 ・保険料の納め方 ・40 歳以上 64 歳以下で医療保険に加入している方(第 2 号被保険者)の介護保険料 ・介護保険で利用できるサービスと費用のめやす
	今年度後半の予定

報告事項⑤

認知症初期集中支援チーム事業・アウトリーチチーム事業 事業報告と新年度状況				
役割	<p>【国のガイドライン】</p> <p>認知症が疑われるが適切なサービスや医療に繋がっていない方を対象に、認知症サポート医を含めた専門職による支援者がチームとなり、ご本人宅等に伺い適切なサービスに繋がっていく</p>			
令和3年度 初期集中 チーム 構成	【北エリア】			
	認知症サポート医	鈴木・大高・井出(敬称略)		
	地域包括支援センター	わかば・さいわい・かみすな		
	認知症地域支援推進員	水村		
	【南エリア】			
	認知症サポート医	上杉・塩安・服部・石井(敬称略)		
地域包括支援センター	ふじみ・はごろも・たかまつ			
認知症地域支援推進員	兵藤			
初期集中	【北エリア】			
	R2 対応件数	R2 終了件数	R3 継続件数	R3 4月末現在
	0	0	0	0
	【南エリア】			
R2 対応件数	R2 終了件数	R3 継続件数	R3 4月末現在	
1	1	0	0	
令和2年度実績と 令和3年度予定	<p>* 懇談会ケース:南エリア3件、北エリア2件(平成31年度より、事前提出書類不要で現場レベルが気軽に支援方針について話し合いができる“懇談会”を開催)。</p> <p>* 令和3年度以降も、各エリア月1回チーム員会議を開催予定</p>			
アウトリーチ	【立川市全域】			
	R2 対応件数	R2 終了件数	R3 継続件数	R3 4月末現在
	1	1	0	0
	令和2年度実績と 令和3年度予定	<p>* 令和3年度以降も、支援依頼に応じてアウトリーチチーム(医師・看護師・精神保健福祉士・相談員・臨床心理士等)が対応し、地域包括担当者、高齢福祉課職員等も協力のうえ、ケース会議や訪問等を行う</p>		

報告事項⑥

立川市出張暮らしの保健室について	
事業 目的	<p>立川市は、市民が自分自身の健康課題をみつけて必要時は相談ができるように、立川市出張暮らしの保健室事業を実施する。</p> <p>これにより、事前予約不要・匿名で気軽に相談できる機会を市民に提供し、個別健康相談の習慣づけ、疾病予防の啓発を目指す。</p>
内容 (委託先： 立川市訪 問看護連 絡会)	<p>経過：市内の自治会が独自で行っていたお茶飲み会に「この場に看護師に来てもらい、健康相談をしたり血圧を測ってもらったり健康に関する講話を聴かせてもらえたらありがたい」という自治会側の意向を受けて、立川市社会福祉協議会が訪問看護連絡会との仲立ちを行い、訪問看護師・薬剤師等がボランティアで自治会に赴く活動を 2 年程度し、その後平成 31 年度から市事業として実施し、約 2 年が経過した。</p> <p>令和 2 年度実施状況と相談のべ件数：</p> <p>① 9/9(水) 高松学習館・・・相談 2 件 参加者 28 名、専門職 2 名(看護師、薬剤師) zoom 参加 「健康食品・サプリメントについて」 「新型コロナウイルス感染予防について」 ※高松寿教室が地域福祉コーディネーターと共同企画 ※個別相談や血圧測定のために接触する距離が近いことを鑑み、参加する市民への不安を排除するため、当日はリモートで講話のみ行い、書面で受け付けた質問を相談とする形で開催</p> <p>評価：平成 31 年度から市の事業となり、包括や社協地域づくり係が関わり令和 2 年度はコロナ禍で開催回数は少なかったものの、オンライン開催にとりくみ、参加者は旬の関心事について速やかに情報を得られたため好評であった。</p> <p>今後の予定：令和 3 年度事業でも、社会状況によっては zoom 等のオンライン開催を選択肢のひとつとして取り入れ、可能な限り実施にむけて、関係者（訪問看護連絡会幹事、地域包括支援センター職員、社協地域づくり係、在宅医療・介護相談窓口担当）が参集して話し合い、方針を決定する</p>

報告事項⑦

令和2年度 医療と介護の連携強化に関する介護支援専門員研修事業 実績報告																																						
目的	介護支援専門員に義務づけられた、利用者に関して医療職と共有すべき情報（訪問介護事業所等から伝達された情報・介護支援専門員自身が把握した情報）について講義研修・現場研修を通して学ぶ機会を得る																																					
対象者	立川市内の介護保険事業所に所属する介護支援専門員 立川市内の地域包括支援センターに所属する介護支援専門員等																																					
内容 (委託先： 立川市 医師会)	<p>■オープンディスカッション 受講者 16名(4回合計)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>日時</th> <th>項目</th> <th>内容</th> <th>会場</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3月9日(火)18:00~18:45 同日 19:00~19:45 3月16日(火)18:00~18:45 3月23日(火)18:00~18:45</td> <td>講義研修</td> <td>医療職(2~3名)と ケアマネとの オープンディスカッション</td> <td>Zoom</td> </tr> </tbody> </table> <p>受講者からの感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分自身の事例に対して丁寧なアドバイスを頂くことができ大満足でした。リアセメントシートの作成など準備に時間を掛けることなく、意見をお聞きすることができて良かった。 ・少人数でじっくり相談できたのが良かったです。医療職の方から直接ご指導頂ける貴重な研修だと思います。 ・ケース検討とは違い困っていることを局所的に聞く事ができたので有効に活用できると思う。 ・「家族が積極的になっているのは何か困っているからでは…」の言葉にハッとしました。理解が無いからこそ専門医につなぐアプローチが必要だと感じた。 <p>■現場研修 受講者 13名(8回合計)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>研修日</th> <th>現場研修実施場所</th> <th>受講者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9月8日(火)</td> <td>独立行政法人 国立病院機構災害医療センター</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>9月14日(月)</td> <td>にしき訪問看護ステーション</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>9月15日(火)</td> <td>榎本調剤薬局</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>10月9日(金)</td> <td>立川在宅ケアクリニック</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>10月15日(木)</td> <td>あっと訪問看護ステーション</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>10月26日(月)</td> <td>はる薬局</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>10月27日(火)</td> <td>健生会ふれあい相互病院</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>11月6日(金)</td> <td>国家公務員共済組合連合会 立川病院</td> <td>2名</td> </tr> </tbody> </table>			日時	項目	内容	会場	3月9日(火)18:00~18:45 同日 19:00~19:45 3月16日(火)18:00~18:45 3月23日(火)18:00~18:45	講義研修	医療職(2~3名)と ケアマネとの オープンディスカッション	Zoom	研修日	現場研修実施場所	受講者	9月8日(火)	独立行政法人 国立病院機構災害医療センター	2名	9月14日(月)	にしき訪問看護ステーション	1名	9月15日(火)	榎本調剤薬局	1名	10月9日(金)	立川在宅ケアクリニック	2名	10月15日(木)	あっと訪問看護ステーション	2名	10月26日(月)	はる薬局	1名	10月27日(火)	健生会ふれあい相互病院	2名	11月6日(金)	国家公務員共済組合連合会 立川病院	2名
	日時	項目	内容	会場																																		
3月9日(火)18:00~18:45 同日 19:00~19:45 3月16日(火)18:00~18:45 3月23日(火)18:00~18:45	講義研修	医療職(2~3名)と ケアマネとの オープンディスカッション	Zoom																																			
研修日	現場研修実施場所	受講者																																				
9月8日(火)	独立行政法人 国立病院機構災害医療センター	2名																																				
9月14日(月)	にしき訪問看護ステーション	1名																																				
9月15日(火)	榎本調剤薬局	1名																																				
10月9日(金)	立川在宅ケアクリニック	2名																																				
10月15日(木)	あっと訪問看護ステーション	2名																																				
10月26日(月)	はる薬局	1名																																				
10月27日(火)	健生会ふれあい相互病院	2名																																				
11月6日(金)	国家公務員共済組合連合会 立川病院	2名																																				

報告事項⑧

令和2年度 看取り支援事業 実績報告																							
目的	立川市の高齢者及びその家族を対象とし、高齢者本人が幸せな人生であったと思えるような最後をどのように迎えたらいのか考え、適切な看取りについて理解を深めてもらうため、合わせて高齢者を支援する介護支援専門員を中心とした専門職に看取りに関する知識と技術を習得してもらうことを目的とする																						
対象者	立川市民 立川市内の介護保険事業所に所属する介護支援専門員 立川市内の地域包括支援センターに所属する介護支援専門員等 その他、病院に所属する専門職等																						
内容 (委託先: 地域包括支 援センター 福祉相談セ ンター)	<p>■看取り支援フォーラム 参加者 127名 開催日 令和3年1月30日(土) オンライン開催 テーマ 私の人生会議～人生100年時代、私はどう生き抜くのか～</p> <p>1. 基調講演:なんとめでたいご臨終 講師:小笠原内科・岐阜在宅ケアクリニック 小笠原文雄医師</p> <p>2. シンポジウム:コーディネーター 荘司輝昭医師 立川市医師会、訪問看護ステーション、ケアマネジャー 傾聴ボランティア、ご家族</p> <p>■講演会 362名参加(6回合計)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>テーマ</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>12月2日(水) 2回上映</td> <td>映画:人生をしまう時間</td> <td>60名</td> </tr> <tr> <td>10月7日(水)</td> <td>講演:日本人の死生観 ～ご自宅で最期まで過ごされた方を通じて～</td> <td>75名</td> </tr> <tr> <td>7月2日(木)</td> <td>講演:看取る心、看取られる心</td> <td>53名</td> </tr> <tr> <td>10月24日(土)</td> <td>講演:最後まで目一杯生きる</td> <td>39名</td> </tr> <tr> <td>10月28日(水) 2回上映</td> <td>映画:ピア～まちをつなぐもの～ 在宅医療に懸命に取り組む、若き医師と仲間(ピア)たち</td> <td>80名</td> </tr> <tr> <td>3月27日(土)</td> <td>講演:今日から始まる私の人生会議 ～暮らしの場での看取りと家族～</td> <td>55名</td> </tr> </tbody> </table>		開催日	テーマ	参加者	12月2日(水) 2回上映	映画:人生をしまう時間	60名	10月7日(水)	講演:日本人の死生観 ～ご自宅で最期まで過ごされた方を通じて～	75名	7月2日(木)	講演:看取る心、看取られる心	53名	10月24日(土)	講演:最後まで目一杯生きる	39名	10月28日(水) 2回上映	映画:ピア～まちをつなぐもの～ 在宅医療に懸命に取り組む、若き医師と仲間(ピア)たち	80名	3月27日(土)	講演:今日から始まる私の人生会議 ～暮らしの場での看取りと家族～	55名
開催日	テーマ	参加者																					
12月2日(水) 2回上映	映画:人生をしまう時間	60名																					
10月7日(水)	講演:日本人の死生観 ～ご自宅で最期まで過ごされた方を通じて～	75名																					
7月2日(木)	講演:看取る心、看取られる心	53名																					
10月24日(土)	講演:最後まで目一杯生きる	39名																					
10月28日(水) 2回上映	映画:ピア～まちをつなぐもの～ 在宅医療に懸命に取り組む、若き医師と仲間(ピア)たち	80名																					
3月27日(土)	講演:今日から始まる私の人生会議 ～暮らしの場での看取りと家族～	55名																					

報告事項⑨

令和2年度 多職種研修事業 実績報告	
目的	高齢者を支える医療職及び介護職が互いの制度や知識を理解するとともに、それぞれの課題について共通認識を深め、医療と介護が連携したサービス提供がスムーズに行えることを目的とした研修を実施
対象	医療・介護関係者
内容 (委託先： 立川市 医師会)	<p>■シンポジウム 出席者 184名(2回合計) 両日ともZOOM(ウェビナー)による開催</p> <p>1. 開催日 令和2年8月11日(火) 出席者 90名 新型コロナウイルス感染症第二波に備えて 立川市の医療・介護崩壊を防ぐために今知っておくこととその備えについて 「札幌で何が起きたか、その時どう動いたか」他 講師 荘司輝昭医師、大友宣医師、岸田直樹医師、 大河内章三ケアマネジャー</p> <p>2. 開催日 令和2年8月26日(水) 出席者 94名 新型コロナウイルス感染症第二波に備えて 立川市の医療・介護崩壊を防ぐために今知っておくこととその備えについて 「病院・診療所で何が起きたか、その時どう動いたか」他 講師 荘司輝昭医師、黄英文医師、足立哲也医師、竹内美枝看護師</p> <p>アンケート回答(71名回答)</p> <p>職 種 医師 4名、歯科医師 4名、薬剤師 7名、看護師 3名 ケアマネジャー 42名、施設職員 5名、センター長 1名 福祉相談センター職員 1名、地域包括支援センター職員 1名 デイサービス相談員 2名、法人相談役 1名</p> <p>受講場所 事業所 49名、自宅 20名、その他 2名</p> <p><今後、多職種研修として取り上げてほしいテーマ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・精神疾患患者(家族)への支援 ・在宅医療の最新情報 ・訪問介護など医療専門職でない事業者が知っておくべき感染症予防など ・日頃、医師が感じているケアマネとの連携・交流について討議できる場 等

	■在宅医療・病院連携支援研修 受講者 8名(4回合計)		
	開催日	内容	参加者
	1月27日(水)	医療関係の職員を対象に、在宅クリニックでの訪問診療開始時の面談や訪問診療に同行し、在宅医療と病院連携について学んでもらう	2名
	3月3日(水)		2名
	3月10日(水)		2名
3月17日(水)	2名		
内容 (委託先： 地域包括 支援セン ター・福祉 相談セン ター)	■看取りに関する実践講座 受講者 597名(8回合計)		
	開催日	内容	参加者
	12月21日(月)	新型コロナウイルス感染症状況報告	30名
	12月23日(水) 第1回実践講座	① コロナ禍での在宅医療の取組とこれからの備え ② 立川市におけるコロナ禍での在宅医療の取組とこれからの備え	100名
	1月6日(水) 第2回実践講座	① 小児医療の看取り 緩和医療の観点から ② 40歳以下の若年層の看取りの実情 ③ 行政からの支援の取り組み	83名
	1月20日(水) 第3回実践講座	① 退院から訪問診療開始まで 在宅看取りに向けた面談 ② 急性期病院における在宅看取り退院支援 ③ 退院支援について 地域包括支援センターの立場から	81名
	1月27日(水) 第4回実践講座	① 在宅からの緊急入院支援 ② 看取りの時のケアマネの役割	69名
	2月17日(水) 第5回実践講座	① ケアマネが考えるACP ② もしバナゲームについて	79名
	3月11日(木)	① ACPについて ② 地域医療における在宅療養の場でのコロナ対策について ③ 在宅医療・介護現場における東京都医師会・立川市医師会による新型コロナウイルス対策について	93名
3月24日(水) 第6回実践講座	① 令和2年度在宅療養実践講座6回の振り返り ② 令和2年度在宅療養実践講座6回の振り返りと薬剤師会の取り組みについて ③ 令和2年度在宅療養実践講座6回の振り返りと歯科医師会の取り組みについて	62名	

報告事項⑩

立川市在宅医療・介護資源マップの更新作業について	
マップ作成目的	立川市民が在宅療養を行う上で必要な、在宅医療支援を実施している医療機関及び介護事業所等の社会資源を市民に周知し、情報提供を行う
作成物と活用状況、更新状況	<p>【 電子版マップ 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・立川市ホームページに掲載 ・電子版マップの更新状況 <p>平成 31 年度 医療機関(医科、歯科、薬局、訪問看護ステーション) 令和 2 年度 医療機関(医科、歯科、薬局、訪問看護ステーション)、 介護事業所</p> <p>【 紙製マップ 】</p> <p>引き続き窓口等で希望者へ配布</p>
内容	<p>平成 31 年から立川・昭島・武蔵村山 3 市共用の運営となったことによる電子版マップのページ面が変化</p> <ul style="list-style-type: none"> ①3市(立川・昭島・武蔵村山)の医療機関等の情報が閲覧可能となった ②地図上のトップページ右側に、武蔵村山市による解説文書のリンクが貼られている状態になった <p>「武蔵村山市内施設について 項目解説(注意事項及び項目の定義について)」と記載されており、クリックすると下記の3項目が記載されている</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 使用上の注意 2 他市との情報の整合性 3 専門用語の解説

協議事項①

令和3年度医療と介護の連携強化に関する研修について

内容:「立川市の医療・介護専門職の実力の底上げ」をテーマに在宅医療・介護連携を学ぶ機会を得るための多職種研修を行い、平成31年度、令和2年度には介護支援専門員を中心とした研修を実施しました。

令和3年度は、実際の現場でケアを行うヘルパー等の介護職を中心とした研修を予定しています。

つきましては、介護職に受けてもらいたい研修の内容等を協議いただくため、以下にご意見等をご記載ください。

記載欄